



長野市議会

新友会だより

2022年
9月
秋号

ごあいさつ



新友会 会長
小泉 栄正

今年の夏は猛暑で残暑厳しい日々が続いておりましたが、市民の皆様におかれましては健やかに
お過ごしのことと存じます。

皆様方には、平素新友会の活動に対しまして、ご指導ご支援を賜り誠にありがとうございます。

新型コロナウイルス感染症拡大は第7波となり収束の見通しが立たない中ではありますが、感染
予防対策に万全を期しながら社会経済活動に取り組んでおります。

長野市は7月に国から新副市長をお迎えし、副市長2名体制で長野市の新産業創出に取り組み、
行政のデジタル化を進め、行政サービスの充実を図り長野市のさらなる発展を目指しています。

長野市が大きく変わろうとしている中、新友会は市民の皆様のお考え、要望を市政に反映するために、市内全域の個人
や支援団体、また100余名の「新友会政策モニター」の方々からの意見要望・アンケート結果を基に、調査・研究を重ね
ながら議会活動・市政対策活動を進めています。

今後も「皆様の気持・要望」が市政に反映できるよう、19名の会員で力を合わせてまいります。引き続きご指導ご鞭撻
を賜りますようお願い申し上げます。



後列左より▶西脇 かおる、グレート無茶、青木 敏明、和田 一成、松田 光平、宮崎 治夫、市川 和彦、桜井 篤、加藤 英夫、箱山 正一
前列左より▶若林 祥、寺沢 さゆり、小林 義直、三井 経光、小泉 栄正、西沢 利一、手塚 秀樹、北澤 哲也、金沢 敦志

新友会について

長野市議会は基本的に会派制で、4会派、加えて無所属2名により構成されております。議員定数は39名(現在、1名欠員で38名)
ですが、新友会は19名の議員が所属している最大会派で、歴代議長や副議長、各委員長等を選出してきた伝統のある会派です。

その一方で、長野市議会初の女性議長を当会派から選出、市内の中山間地域の全議員が所属、100名を超えるモニターさん
から定期的に意見交換する等、様々な取り組みを長年にわたり行ってきました。そしてこれからも当会派は、市民の皆様に関
添った議会活動に邁進し、市議会を牽引してまいります。

なお、市民生活でお困りごとがございましたら、遠慮なく新友会までご連絡、ご相談ください。

新友会は、市民の皆さまのご意見をお待ちしております。ご遠慮なく、下記にご連絡ください。

- 発行所：長野市議会 新友会 〒 380-8512 長野市大字鶴賀緑町1613番地 長野市役所第一庁舎 7F
- 発行責任者：小泉 栄正 TEL.026-226-4911 (内線 3931) FAX.026-229-6386
- ホームページ： <https://shinyukai-nagano.com/> E-mail： shinyu@mx1.avis.ne.jp

長野市議会 新友会 🔍 検索





新友会議員から 皆様へ



寺沢 さゆり
浅川地区在住
新友会相談役
長野市議会議長
福祉環境委員会委員

「住み慣れた地域で安心して住み続けるために」

「子どもも大人も皆が笑顔で安心して暮らせる長野市」を目指して仕事をしてきました。しかしまだまだ支援が必要な人にいき届いていない現状があり、なんとかしたいと強く思っています。

コロナ禍で先の見えない不安感を持たれている方も多いと思います。そんな中ですが、だれもが安心して安全に住み慣れた地域で住み続けられるようこれからも力を尽くしていきます。皆さんの声をお聞かせください。



三井 経光
吉田地区在住
新友会顧問
福祉環境委員会委員
災害対策等調査研究特別委員会委員
長野市都市計画審議会委員

「議員としての信条」

私は長年議員として働いてまいりました。いつも心の中にあるのは、人の為、社会の為に働き、それには自らを律して法社会である以上決して法律に反することはしないと常に信条にしております。学校でも法律を教えている以上生徒もいっさい法に反することはしなく明るく楽しく学んでいると思います。人に言われたお願いごと即実行をしてくれています。

これからも皆様の声をお聞きしながら、次なる長野市をつくってまいりたいと思います。



小林 義直
芹田地区在住
新友会顧問
経済文教委員会委員
公共交通対策調査研究特別委員会委員長
長野広域連合議会議員

「人口減少を克服する持続可能な社会の仕組づくり」と「新たな生活様式を」

人口減少社会は、経済の縮小や社会活力の衰退に繋がりがねません。全ての市民の方が健康意識を高めながら、社会の一員として活躍し続ける意識改革と環境の整備が必要であり、公共施設の多機能化・複合化や行政全体のデジタル化を進め、市行政・地域社会の変革を目指すことが肝要と考えています。

また、温暖化豪雨が原因と言われる水害やコロナ感染症に対応する新たな生活様式を進めたいと思います。



宮崎 治夫
川中島地区在住
長野市監査委員
総務委員会委員
観光戦略調査研究特別委員会委員

「安心・安全を守り 確かな地域の未来づくり」

- 防災に強い地域づくり
未曾有の震災を教訓に、防災への具体的な取り組みと、安心して避難できる地域防災施設の充実を図ります。
- 地域ブランドづくり
地元の農産物で地域ブランド作り、商品の製造・開発を通して農産物販売起点作りを支援していきます。
- 地域スポーツ拠点づくり
スポーツ練習拠点の整備、環境作りを通して競技力と指導体系の応援を強化していきます。



小泉 栄正
中条地区在住
新友会会長
建設企業委員会委員
農林業振興対策特別委員会委員
議会運営委員会委員
議会活性化検討委員会2019委員長
長野広域連合議会議長

「中山間地域に活力を」

中山間地域は、過疎化の中少子高齢化が一段と進み大変厳しい状況に置かれています。この地域で安全で安心して暮らせるために、「やまざと振興計画」の目標①地域コミュニティの充実、②暮らし続けられる地域の維持(交通対策、医療福祉の確保、子育て・教育の充実)、③地域資源を生かした産業振興(農業への新たな取り組み)の実現が必須です。均衡ある長野市の発展に向け、中山間地域特有の課題に取り組み、活力ある地域を目指し施策の充実強化を求めています。



西沢 利一
信州新町地区在住
新友会副会長
建設企業委員会委員
観光戦略調査研究特別委員会委員長
議会運営委員会委員
議会活性化検討委員会2019委員
長野市都市内分権審議会委員

「永遠に輝ける中山間地域であれ」

平成の大合併から12年半、着実に中山間地域の人口減と高齢化が進み、今後の地域の維持も困難になってきている現実を見るにつけ、自分の職責がいかに大切か、言い換えれば、住民の命を預かっていることになる。まずは常日頃の生活を守るために、県・市道の維持管理、足を守るためのバスの確保、災害から地域を守る対策、荒廃地を減らす対策、鳥獣害対策など取り組む課題は山積。まずは、中山間地域がいつまでも住み続けられるように願うばかり。



松田 光平
篠ノ井地区在住
総務委員会委員
農林業振興対策特別委員会委員
千曲衛生施設組合議会議長
長野市農業委員

「産業の振興、特に日本の基幹産業である農林業への支援にも励んでまいります」

産業振興や商店街活性化条例の制定に取り組んでまいりましたが、長野市農業委員を拝命、併せて農林業振興特別委員会委員を機に、日本の主要産業である農林業の現状を十分把握し、的確な活性化策を立案してまいります。また、本年度長野市もワイン特区申請を行う予定となっており、ワインブドウ生産やワイナリー建設への支援、さらにワインが親しまれる文化の醸成(ワインに合う地場産農産物とのマリアージュなど)を行ってまいります。



若林 祥
更北地区在住
新友会相談役
長野市議会副議長
経済文教委員会委員
長野広域連合議会議員

「多様化する市民ニーズに的確に対応できる長野市へ」

少子・高齢化により生産人口が減少し、税収減少による財政硬直化が進行する中で、高齢者介護など従来は身内で対応していた事柄もアウトソーシングするなど、市民の皆様の生活スタイルが変化し、それ等を含め、行政に対する要望が多様化しています。その為、民生費を中心に財政支出が増加し、税収に見合うコンパクトで公正妥当な予算運用が求められています。議会人としてそれらを見極め、課題を次世代に先送りしない様努めます。



市川 和彦
大豆島地区在住
総務委員会委員
災害対策等調査研究特別委員会委員
長野広域連合議会議員
長野市社会福祉審議会委員

「政治姿勢“共に、生き・育み・栄える”長野市政運営における“共同・協調”“大豆島～長野市の地域議員”」

- 重点施策**
- 1.長野市の人口減少対策と経済促進
 - 1.エムウエーブ南の産業団地推進を始めとした大豆島地区の元気な街づくりの推進
 - 1.消防職員定年延長対策と消防団組織構築
 - 1.学校・教職員の働き方改革促進
 - 1.地域連携による子育て支援・教育の実現
 - 1.幼保現場～貧困家庭と介護現場の支援
 - 1.環境保全と危機管理防災体制の構築

Blog『市川和彦“長野市政への想い”』を訪問してください。



北澤 哲也
三輪地区在住
新友会副幹事長兼市政対策部会長
福祉環境委員会委員長
公共交通対策特別委員会副委員長
議会運営委員会副委員長
議会活性化検討委員会2019委員
長野広域連合議会議員

「公正な判断が求められる時代」

ライフラインや公共交通など、まさに市民の命を守る一番大切な市政の事業だと感じていて、それを公正に議論し伝えられる議員でありたいと考えています。
議員活動をしていて感じることは、市政(生活)に進化や成長はあっても、退化や後戻りは考えられないのが現状の中、耳障りの良いことばかり言うのではなく、時には立ち止まって将来を見据えた議論をすることも大事にしていきたいと思っています。



手塚 秀樹
松代地区在住
新友会幹事長
建設企業委員会副委員長
公共交通対策調査研究特別委員会委員
議会運営委員会委員長
議会活性化検討委員会2019委員
長野広域連合議会議員

「暮らしやすい長野市を目指して」

長野市の各分野の施策はどれも多くの高水準であり、このことはどの世代にとっても住みやすい街であると思います。
レベルをさらに上げ、暮らしやすさを実感できるよう施策の充実に努めています。
議案採決など多くの判断をしていますが、毎回その考えが正しいかどうか悩み、常に市民益とは何か自問自答しています。
今も、将来も、市民の皆さまが豊かで幸せで誇りある長野市を目指しています。



金沢 敦志

古牧地区在住

新友会市政調査部会長
経済文教委員会副委員長
観光戦略調査研究特別委員会副委員長
議会運営委員会委員
議会活性化検討委員会2019委員
長野都市計画審議会委員

「市政による思い切った少子高齢化対策を」

市議の主な仕事は、市民にとって身近な存在として、その時事の要望に細かく応えることに加え、長期的に市政全体を未来へどう向けていくのか議論していくことであります。

長きに渡る少子化とその結果としての高齢化は地方経済を低迷させ、民生費の増加により市の財政を厳しいものにしています。長野市の未来に向け、思い切った少子高齢化対策の実行に加え、議員自ら腹を切った厳しい財政に寄与する姿勢を見せねばと思います。



和田 一成

戸隠地区在住

新友会市政対策副部会長
福祉環境委員会副委員長
農林業振興対策特別委員会委員
議会報編集委員会委員
長野市都市内分権審議会委員

「地道にコツコツと活動を」

議員活動も早や3年になります。災害やコロナ禍で激動の令和が今も続いており、安穏な日常生活は未だ遠い状況です。市政や議会、活動報告を面前で、自分の言葉で伝えたくともままなりません。今は初心を忘れず、地域や住民、事業者の皆さんの課題や要望に真摯に向き合い、中山間地域の不安解消や魅力発信、市内経済の発展、そして将来の子どもや孫に過大な負担を先送りせず、予算の大切さや財政健全化を心掛けて活動いたします。



桜井 篤

三輪地区在住

新友会市政調査副部会長
建設企業委員会委員
公共交通対策調査研究特別委員会委員
議会報編集委員会副委員長
長野市都市内分権審議会委員

「長野市が抱える様々な課題への対応」

- 人口減少・少子高齢化社会への対策と継続的な子育て支援策の実施
- 令和元年東日本台風災害からの早期復興
- 新型コロナウイルス感染症対策と困窮する市民や事業者への経済的支援
- 公共施設の計画的・効率的更新による既存施設の複合化・多機能化・長寿命化の推進
- 地球温暖化の防止や生物多様性の確保と限りある資源の有効活用など環境問題への対応
- SDGsの推進で誰一人取り残さないまち



青木 敏明

豊野地区在住

経済文教委員会委員
災害対策調査研究特別委員会委員
須高行政事務組合議会議員

「未来を見据え行動し、明日の長野市を切り拓きます」

少子高齢化、人口減少が様々な分野に影を落としています。それに加え新型コロナウイルス感染症の収束が未だ見え、先行き不透明な状況が続いています。そんな環境下であっても、喫緊の課題解決に取り組むことは勿論のこと、地域の10年先、20年先の未来を見据え行動し、市民目線に立って、地域課題や行政課題に取り組んでまいりたいと思います。引き続き皆様の声や希望（ねがい）をお聞かせ下さい。



加藤 英夫

若穂地区在住

経済文教委員会委員
農林業振興対策特別委員会副委員長
議会報編集委員会委員
千曲衛生施設組合議会議員

持続可能な農業政策と郊外地の活性化を

〈農業政策に対して〉食料自給率の向上が叫ばれ、にわかには食糧安全保障が注目されています。農業の大切さを考え、本市の農業予算の増額を求め、農家が安心して営農ができる環境を整えることを追求していきます。同時に後継者や新規就農者が参入しやすい環境整備も求めています。
〈郊外地の重要性〉長野市が活力ある街になるためには、中心市街地以上に郊外地を元気にすることが肝要です。郊外地が活性化することにより長野市域全体がさらに活気づくものと考え、人口減少や空き家等の対策が不可欠であると思います。



グレート無茶

第5地区在住

総務委員会委員
観光戦略調査研究特別委員会委員
長野市都市計画審議会委員

「もっと`わくわく`。する長野市に！」

私は長野市がわくわくする市になれば、大抵の問題が解決できると思っています。
大人がわくわくすれば、子どもたちもわくわくします！
わくわくする市には人が大勢集まってきます！
みんながわくわくすれば、ネガティブな考えが起きなくなります！
そんなわくわくが溢れる長野市にしたいと思っています。



箱山 正一

第二地区在住

総務委員会委員
観光戦略調査研究特別委員会委員
議会報編集委員会委員

「中心市街地ににぎわいをつくり、長野市のヤマとマチを繋ぐ」

議員をさせていただく前の10年間の僕のまちづくりは「自分たちの地域は自分たちでオモシロおかしくやっこいこう」と、もがいてきました。今も僕のまちづくりの原点はそこにあります。長野市のまちづくりの歴史や変遷を知れば知るほど、スポット的で縦割り、連携が弱いと感じています。善光寺門前から形成されてきた仏都長野市の街並みを骨格にしながら、善光寺一権堂―長野駅を背骨とする中心市街のにぎわいと、自然豊かな中山間地を繋ぐ政策を、命を懸けてやっています。



西脇 かおる

朝陽地区在住

福祉環境委員会委員
災害対策等調査研究特別委員会委員
タブレット検証委員会委員
長野市都市内分権審議会委員

「スポーツを軸としたまちづくり」

本市では、第三次長野市スポーツ推進計画に基づき、スポーツを通じ健康増進と健康寿命の延伸・長野市への愛着増・交流人口増・地域経済の活性化を図るためスポーツを軸としたまちづくりを推進中です。高齢化により本市の社会保障関係費は年々伸び続けており財政を圧迫しています。社会保障関係費抑制の観点からも、また何より長野市民が人生100年時代を、生き生き健やかに過ごせるようこの施策の実現に期待し力を注いでまいります。

『新たな課題に取り組むため、常に研鑽を』

この数年間を振り返ると本市は、令和元年東日本台風災害の復旧・復興や新型コロナウイルス感染症関連の対応や対策に迫られ、議員活動の一環でもある県内外への問題解決のための視察や、セミナーなどに参加し、議員として見分を広めることは、非常に困難でした。

その代わりに講師をお呼びして研修・勉強会を開催したり、動画素材を購入して会派内で視聴したりしながらの学びでカバーしてきました。

特に1期生が多いことから、市の取り組み内容や、議員としての基本的な資質や言動について、初歩的なことから専門分野に関することまで、庁舎内で頻繁に勉強会や研修を行いました。



▲動画セミナー視聴



▲外部講師を迎えGIGAスクール勉強会を開催

時代が進むにつれ、新たな課題が発生しますが、その解決のためにはさらなる専門的な知識や他の自治体の手法を知る必要があります。コロナ禍においては活動が制限される場面もありますが、創意工夫しながら、新友会の議員として常に学び・研鑽を止めない努力の日々を続けてまいります。

新友会が取り組む課題

議員定数の削減について



新友会は改選期（満期による選挙）により、その所属議員が引退した後も新たに議員が入会し、長年にわたり市議会最大会派として議会をリードしてまいりました。最大会派として活動できましたのも、多くの市民の皆様から様々なご意見を頂戴し、それをその時代の要請に基づいた施策として議会に提言する努力を続けてきた結果であると考えております。

中核都市である長野市は、他の市町村同様、少子高齢化が進んでおり、長野市の人口動向分析によると、2000年（平成12年）に約39万人とピークを迎え、以降緩やかに減少しております。2022（令和4年）年8月1日現在は、36万5,818人（長野市の町別人口及び世帯数調査より）で、次期改選期末の2027年（令和9年）までには人口はさらに減少するのは確実と推測されます。

少子高齢化と人口減少により税収が減少しますが、一方で医療や介護費等の民生費が増大し、市財政はさらに厳しくなります。そのような状況下でも、少子化対策として子育て支援等にも注力せねばなりません。

厳しい財政下で上記の民生費を確保するため、他の予算を抑制する必要があります。

そのため、新友会としても、当然ながら市議会議員にかかわる予算も聖域であってはならず、そのために議員定数（予算）を減らすことは議員にとって厳しい環境になりますが、市民のために実行すべきと考えております。

新友会は常に市民の皆様にとって最善の政策を実現してまいりますので、ご支援のほどよろしくお願いいたします。

長野市議会から長野市長へ

「新型コロナウイルス感染症対策等に関する要望書」が提出されました

新型コロナウイルス感染症の第7波が猛威を振るい、長野市内、長野県内、日本全国においても過去最高となる新規感染者が続出している中で、長野市として必要な対策を講じるよう、長野市議会として「新型コロナウイルス感染症対策等に関する要望書」がまとめられ、令和4年8月10日、長野市長に提出されました。

本要望は、新友会からの発案により行われたものです。

要望項目は次のとおりです。

- 1 新型コロナウイルスの流行「第7波」の急拡大を受け、感染拡大の長期化、重症化に備えるため、ワクチンの高齢者等への4回目接種や若年者への3回目までの接種の積極的な促進を図ること。また小児（5～11歳）の接種についても、円滑な接種促進を図ること。
- 2 高齢者施設等の従業者への高齢者等を守るための積極的検査、また自主検査への支援や、手洗い、手指消毒、換気等基本的な感染予防対策の徹底を図るための市民啓発など、さらなる感染予防策の徹底を図ること。
- 3 現在、市保健所を中心として、重点的に進めている新型コロナウイルス感染症対策について、着実な実施に努めること。

新友会から長野市長に

「現下の経済情勢における地域・市民・事業者等への支援に関する要望書」を提出しました

本市では、一年延期となった善光寺御開帳や関連イベントが、関係者のご尽力により感染対策を徹底しながら無事開催され、期間中、約636万人もの参拝客が長野市を訪れ、久しぶりに街の賑やかさを感じることができ、御開帳の経済効果は、1,095億円余りに上ったとされております。

その様な中、我々を取り巻く社会経済状況は、新型コロナウイルス感染症が2年以上も続き未だ終息が見えず、また、ロシアによるウクライナ侵攻などにより物価が高騰するなど、市民の生活や企業活動等に様々な影響が出ています。

このため、善光寺御開帳で盛り上がった活気ある街の気運を損なうことなく、地域や市民の皆様の生活を支えるとともに、事業者などへも支援しながら経済活動の維持を図ることが大変重要だと考えています。

そこで、本市においては、国・県の動向等をいち早く掴みながら、地方創生臨時交付金などあらゆる財源を活用し、地域、市民、事業者等への対策が早期に必要と考え、長野市に対し、令和4年8月10日に要望書を提出し、一刻も早い取り組みをお願いいたしました。

要望項目は次のとおりです。

① 子育て・生活支援について

- ・様々な食材の値上げ、燃料費等の高騰により、小中学校及び保育園等の給食費不足が見込まれることから、子育て世帯への給食費の補てん等の措置を講ずること。
- ・生活困窮者については、6月補正にて給付金の対応をしているところであるが、原油価格の高騰が長引く中、昨年度に引き続き、冬季の灯油等購入費の助成を講ずること。

② 事業者支援について

- ・6月補正にて、御開帳終了後においても切れ目ない経済対策により事業者支援を講じているが、原油価格・物価高騰により大きな影響を受けている公共交通事業者、旅行・宿泊事業者や農業事業者等へもきめ細かな支援策を講ずること。

③ その他

- ・これら支援策については、スピード感をもって対応するとともに、国・県の動向を注視し、様々な財源を有効に活用した予算措置を講ずること。
- ・今後、国のさらなる経済対策等についても、その対策が市民や事業者に行き渡るよう、国の動向等の情報収集に努め、有効な対応が取れるよう迅速に取り組むこと。



我々は、今後も市民の皆様への命と暮らしを守るために、社会情勢を注視しながら、引き続き適宜対策を講じるよう取り組んでまいりますので、皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。